

## 2026年度 SYLLABUS 【博士後期課程】

授業科目名	演習 I		
担当教員名	藤沼 司		
ディプロマ・ポリシー (DP) との関係			
	DP1	DP2	DP3
	○	○	○
科目のテーマ	<p>講義科目「経営哲学特別研究」や「マネジメント論特別研究」において、「経営」や「組織」、「協働」について基本的なところから問い直すための基盤についての考究を深めた。</p> <p>「演習 I」では、履修者各自が学位論文を執筆するに当たって、その広範な分野のうち、どこに重点を置くかを明確にすることを目的とする。</p>		
科目内容・方法等	<p>上記のテーマを念頭に置きながら、各自の重点テーマにかかわる最新の研究成果を批判的に読解することを通じて、自らの研究の大枠を固めながら、年度ごとに行われる「研究報告会」での報告内容を詰めていく。適宜、学位論文につながるレポートを作成してもらう。</p> <p>詳細については、履修者と相談の上で、決める。</p>		
到達目標：			
<p>経営哲学研究やマネジメント理論研究の観点を踏まえて、研究テーマに即した論文執筆の基礎を確立すること。</p>			
評価方法及び評価基準：			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 受講時の態度（積極性の有無）や発言内容（質問、意見等）、レポート等によって総合的に評価する。</li> <li>・ 成績評価は、60点未満をF、60～69点をC、70～79点をB、80点以上をAとする4段階とし、C以上の評価に単位を与える。</li> <li>・ 各評価の基準は以下の通り。 <ul style="list-style-type: none"> <li>A評価：授業内容を応用できるのみならず、批判的にとらえることを含めて、当該理解をさらに発展させられること。</li> <li>B評価：授業内容の理解に基づいて、より広いケースにその理解を応用できること。</li> <li>C評価：授業内容について、概ね理解していること。</li> </ul> </li> </ul>			
授業の方法：			
<p>一緒に輪読しながら、議論を重ねる。</p>			